

# ナラティブ・メディスン ワークショップ

講師 **栗原幸江 先生**

上智大学グリーンケア研究所 特任教授  
認定NPO法人マギーズ東京 理事

日時：9月26日(木) 18:00～19:30

臨床現場で出会う「病いを巡る物語り」に五感を澄ますことは、治療やケアの選択に活かされるだけでなく、そこに生まれる「対話」自体がつかさや苦悩をやわらげる緩和ケアとなります。小説、絵画、映像、音楽等を媒体としてさまざまな「物語り」を読み解き表現する力を育む『ナラティブ・メディスン』は、米国コロンビア大学のリタ・シャロン教授が開発した教育研修プログラムです。

医療者の感性やコミュニケーション能力を高めることを意図したこのプログラムは、私たちの好奇心を刺激し、自己洞察を深め、チーム医療に携わる多職種メンバーの多様なとらえ方から互いに学び合う姿勢を育みます。

体験や体感を大切にすることのワークショップが、参加される皆さんの発見や気づき、そして喜びの時間となれば幸いです。

対象：聖路加国際病院職員、 聖路加国際大学教職員・学生・卒業生

定員：25名（申込多数の場合は先着順）

場所：大村進・美代子記念聖路加学術センター 3301教室（東京都中央区築地3-6-2 3階） 参加費：無料

ファシリテーター：

中村めぐみ（聖路加国際大学 PCC開発・地域連携室 マネジャー / がん看護専門看護師）

射場典子（聖路加国際大学 大学院看護学研究科 准教授）

お申し込みフォームには、下記のリンクまたはQRコードよりアクセスしてください。

[HTTPS://FORMS.GLE/RCPP5MW8S2QKZKHJ6](https://forms.gle/RCPP5MW8S2QKZKHJ6)

申込期限：9月21日(土)

※フォームへアクセスできなかった方はメールにてお問い合わせください。



お問い合わせ：ch.ksy@slcn.ac.jp（糟谷）

主催：聖路加国際大学大学院看護学研究科 井上麻未・糟谷知香江

共催：聖路加国際大学PCC開発・地域連携室

## 講師紹介

上智大学グリーフケア研究所 特任教授  
認定NPO法人マギーズ東京 理事  
がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科 心理療法士  
コロンビア大学ソーシャルワーク大学院修士課程修了

# KURIHARA YUKIE

主な研究領域：緩和／エンドオブライフケア， グリーフケア， ナラティブ・メディスン

主な著作：

『人生の終わりに学ぶ観想の智慧—死の床で目覚めよという声を聞く』(共訳， 北大路書房， 2020)  
『心理臨床実践—身体科医療を中心とした心理職のためのガイドブック』(共著， 誠信書房， 2017)  
“Oxford Textbook of Palliative Social Work” (共著、Oxford Univ. Press, 2011)

新曜社より2024年9月刊行

木下康仁ほか(編)

## 『ヘルスヒューマニティーズ： 相互回復の実践・教育・研究』

ケアは一方通行ではない。ケアを受ける人もまたケアを提供する。病いや障害をもつ人とケアする人、双方のウェルビーイングの向上、相互回復を目的として、「医学・看護・介護・教育」と「アート・人文」を融合する新しい学際領域、ヘルスヒューマニティーズ。その考え方、教育プログラム、幅広い領域の実践を紹介する、本邦初の本。